

# News Release

平成 30 年 10 月 25 日  
N I T E ( ナ イ ト )  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
北海道支所

## 「長期使用製品安全点検制度」をご存じですか？ ～古い製品は今すぐ点検を～

### 1. 事故の発生状況

北海道では、特定保守製品の事故は、2013 年度から 2017 年度までの 5 年間に合計 50 件ありました。

#### (1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表 1 年度別事故発生件数 (2013～2017 年度)

発生年度	合計
2013年度	13
2014年度	10
2015年度	8
2016年度	14
2017年度	5
合 計	50

#### (2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表 2 被害状況別事故発生件数 (2013～2017 年度) ※1

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	1
	軽傷	4
物的被害	拡大被害	23
	製品破損	21
被害なし		1
合 計		50

(※1) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品

## 2. 主な事故事例

### (1) 石油ふろがま

○2014年2月（北海道、製品破損、使用期間約15年）

事故内容：石油ふろがまを使用中、燃焼音が聞こえなくなったため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。

事故原因：当該製品の燃焼用送風機のファンが長期（約15年）使用により破損したため、燃焼用空気が不足し異常燃焼が発生、その際に煙突内に風圧がかかり、送風機側に炎が逆流したため、出火したものと推定される。

### (2) 石油ふろがま

○2016年1月（北海道、拡大被害、使用期間約18年）

事故内容：石油ふろがまを使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。

事故原因：当該製品は、長期使用（約18年）により、内部にホコリが堆積したため、電源基板の電源コード接続部でトラッキング現象が発生し、出火したものと推定される。

## 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

### （本件に関する問い合わせ先）

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者：大井、下川

電話：011-709-2324